

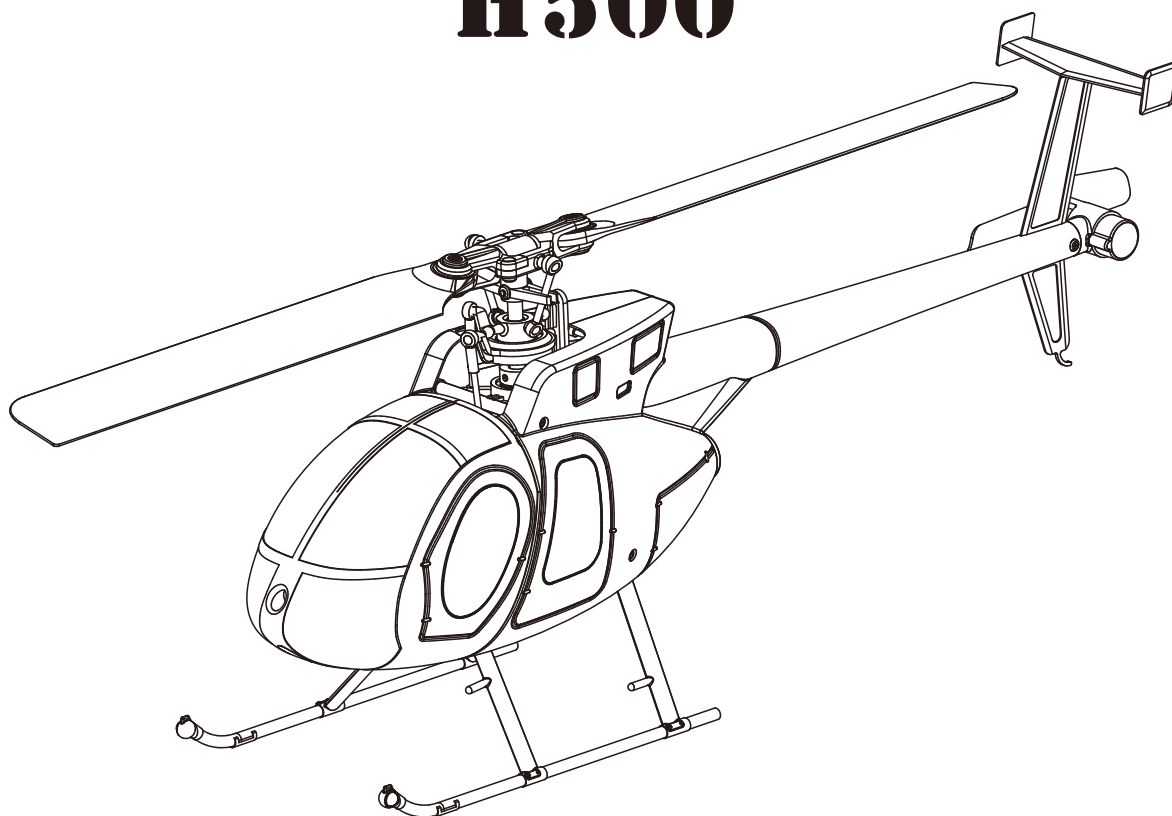


Nine Eagles®

www.NineEagle.com

RADIO CONTROL HELICOPTER
SOLOPRO 127

H500



ANY®LINK
2.4GHz 4CH

Hitec Multiplex Japan 2012

Copyright © 2012 Hitec Multiplex Japan, Inc. All Rights Reserved.

Ver.1206

ご挨拶

この度は当製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。当製品は3軸ジャイロを搭載した安定性の高いヘリで基本操縦を習得されたお客様のステップアップに最適なシングルローターヘリコプターです。本格的なR/Cヘリコプターの操縦感覚を気軽に室内で楽しめるように、超小型軽量タイプになっております。玩具ではありませんので、当説明書の取扱の注意をよくお読み頂き、末永く安全にご愛用下さりますよう社員一同、心よりお願い申し上げます。

2012年 株式会社ハイテックマルチプレックスジャパン

目次

ご挨拶・目次-----	2
安全の為の注意・警告・飛行場所の注意-----	3
【重要】フライト頂く前に必ずお読みください【動作確認手順】-----	3
Li-Poバッテリーの取扱注意-----	4
梱包内容、スペック-----	5
送信機の電源を入れる際の注意-----	6
送信機各部名称（モード1）-----	7
D/R、スティックモード切替-----	8
電源スイッチの入れ方・切り方-----	9
Li-Poバッテリーの充電-----	10
受信機のBind手順-----	11
送信機スティックの役割-----	12
トリム調整-----	13
飛行練習のアドバイス-----	14
SoloPro127 H500分解図-----	15
補修パーツセット-----	16～17
FAQ集-----	18
修理規定について-----	19



安全のための注意と警告

- ・当製品は玩具ではありません。14歳以下のお子様には使用させないで下さい。また、お子様の手の届く場所に保管しないで下さい。
- ・飛行に慣れるまでは広い場所での練習をお奨めします。風の影響を受けますので、微風以下の環境で練習して下さい。
- ・メインローターやテールブレードは回転して大変危険です。飛行中は人の顔や手に回転物が接触しないように安全に飛行させて下さい。特に見物人にご注意下さい。
- ・本製品は室内専用モデルです。屋外では風の影響で正常に飛行出来ません。室内でもエアコン等の風の影響を受けます。
- ・飛行前に必ず各ビスの緩みや脱落がないかを点検して下さい。点検を怠ると最悪の場合、飛行中に部品が飛び危険です。また、激しい着陸や墜落の後には部品にヒビや割れが無いかを確認して下さい。
- ・飛行させないときは常に機体からバッテリーを取り外して下さい。そして保管中はお子様に触れさせないように注意して下さい。
- ・本機はLi-Poバッテリーを使用しています。この電池は取り扱いを誤ると発火等の危険な事態になる恐れがあります。取り扱い注意事項を守り、安全に飛行をお楽しみ下さい。
- ・本機のLi-Poバッテリーは純正充電器、機体での放電のみ可能です。それ以外の機器での充電や放電は絶対にお止め下さい。
- ・本機のLi-Poバッテリーの充電は高温や直射日光をお避け下さい。
- ・本機のLi-Poバッテリーの保管は金属ケースを避け、コネクタ端子がショートしないように保管して下さい。
- ・本機のLi-Poバッテリーを分解や改造しないで下さい。
- ・送信機と機体、及びLi-Poバッテリーは絶対に水に濡らさないで下さい。
- ・本機は他の2.4GHzの無線LAN等のワイヤレス機器と同じ周波数の電波を使用しています。飛行する際は電波影響のない場所でお楽しみ下さい。
- ・当製品の性格上、お客様がご使用（飛行）になって起きました結果に付きまして、一切の保証は致しかねます事をご了承下さい。

飛行場所の注意（本製品は室内専用です）

- ・本機体は超軽量の為に風の影響を受けやすくなっております。部屋のエアコンや換気扇、窓からの風を遮断すると機体が流されることなく安定したフライトを楽しめます。
- ・初心者の方は出来るだけ家具の無い広い部屋（8～10畳）での練習をお奨めします。

【重要】フライト頂く前に必ずお読みください

NineEaglesヘリコプター製品動作確認手順のご案内

【機体破損の有無】

- 1.機体・送信機・付属品が揃っていることを確認し、欠品がないかをご確認ください。
- 2.機体・送信機・付属品に破損がないかどうかよくご確認ください。破損を発見した場合はフライトさせずに弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

【プロポの動作確認手順】

- 1.プロポの電源を入れ、エルロン、エレベーター、ラダー、スロットル、ピッチ（3軸ジャイロ搭載機のみ）、の各種スティック動かして引っ掛かりがないこと、液晶画面のポテンションインジケーター（トリムポジション表示）がスティックに追従していることを確認してください。
- 2.トリムスイッチを操作した時、すべてのトリムが正常に増減していることを液晶画面の数値で確認してください。その他スイッチ類が正常に切り替わることを確認してください。

【機体の動作確認手順】

- 1.プロポの電源を入れ、エレベータースティック、エルロンスティック、スロットルスティックを操作し、各操作が機体サーボに反映されているか確認してください。ラダー操作はテールモーター回転差によって制御されますので、スロットルを50%程度まで上げて、テールモーターの強弱が付くか確認してください。

【重要】Li-Poバッテリー 取り扱い上の注意（必ずお読みください）



Li-Poバッテリーは小型軽量で高性能ですが取扱を誤ると大変危険な電池です。最悪の場合、火災・死亡事故に至る危険性を持つことを十分に理解して慎重にお取り扱い下さい。

その為に当説明書を必ず最後までお読みになり、注意事項を厳守下さるようお願い致します。

1. 取扱上の重要事項

- ・ LiPoバッテリーを使用するにあたり、必ず正しい取扱い知識を習得してください。
- ・ 設定が正しい充電の場合でも、各セルの電圧のばらつきにより発火する可能性があります。
- ・ 充電は燃えやすいものが近くにない場所で、目を離さないように行って下さい。
- ・ 過充電の火災に備えて消火器等を備えてください。
- ・ 充電は必ず付属の送信機または専用充電器をご利用下さい。
- ・ 送信機・専用充電器での充電のみご利用頂き、機体以外での放電は行わないで下さい。
- ・ 本製品は模型用充電式リチウムポリマー電池です。他の用途には使用出来ません。
- ・ 変形や臭い、変色等の異常を見付けた場合は使用しないで下さい。
- ・ 電池パックを絶対に分解・改造しないで下さい。
- ・ 過放電してしまったバッテリーはご使用頂くことができなくなります。放電し過ぎないようにご注意ください。
- ・ 軽い過放電でも繰り返してしまいますとLiPoバッテリーが次第に傷んでいきます。
- ・ LiPoバッテリーは消耗品となりますので、初期不良品以外の交換・返品は致しかねます。

2. 充電時の注意

- ・ 充電中は離れずに常に監視をして、異常事態に対処して下さい。
- ・ 万一充電中にリチウムポリマーバッテリーが膨れ始めたら直ちに充電を中止してください。（さらに充電し続けると爆発します）バッテリーを外して安全な場所で様子を見て下さい。
- ・ リチウムポリマー電池にはメモリ効果がないため、放電無しで追加充電するだけで使用可能です。
- ・ 送信機で充電頂く際はスイッチを切っても微弱電流が流れるため、その状態で数時間放置すると過放電になってしまいます。充電完了後は、バッテリーを必ず送信機・USB充電器から抜くようにして下さい。
- ・ 充電中は電池と充電器を不燃性の台の上に設置して下さい。
- ・ 充電器は高温になりますので、火傷にご注意下さい。
- ・ 充電が完了したら必ず電池を充電器から取り外して下さい。
- ・ 充電前に電池をよく確認して、少しでも膨らんでいる場合は、ダメージを受けている恐れがありますので、絶対に充電（使用）しないで下さい。
- ・ 充電は電池温度が0～35度の範囲で行って下さい。

3. 機体がクラッシュ（墜落）した場合

- ・ 墜落や衝突で電池が強い衝撃を受けた場合、膨張発火の恐れがありますので、発火しても火災にならない場所に暫く放置して様子を見て下さい。
- ・ 強い衝撃を受け、内部構造が変形した電池や、被覆が破れた電池は使用出来ませんので適切に破棄して下さい。

4. 電池の保管・保存

- ・ 必ず丈夫なケースに入れて保管し、コネクタの端子間がショートしないように注意して下さい。
- ・ 電池のラミネート被覆は絶対に穴を開けないで下さい。発火の恐れがあります。
- ・ 保存可能温度は-20～60度ですが、性能を保つためには10～50度の範囲内の乾燥した場所に保存して下さい。25度での保存が最も性能劣化を防げます。
- ・ 車内など60度以上の高温状態に放置すると発火する場合があります。
- ・ 長期保存の場合、少なくとも6ヶ月に一度は充電→放電→保存充電を行い、性能を維持して下さい。
- ・ 電池から液が漏れていた場合、直接手を触れないで下さい。
- ・ 満充電で放置しないで下さい。気温が上昇した場合は電圧が上がり、過充電状態になり電池が膨らみ危険です。保存する場合は50～70%程度の充電量で保存して下さい。

5. 電池の運搬・廃棄

- ・ 電池の運搬中は電池表面に力が掛からないようにケースに入れて運搬して下さい。
- ・ 破棄する場合は放電した後に端子にショート防止のテープを貼り廃棄して下さい。
- ・ 絶対に火の中に投じないで下さい。爆発します。
- ・ 破棄は各自自治体に問い合わせるか、リサイクル協力店にお願いして下さい。

梱包内容



- 1.機体本体
- 2.J4送信機
- 3.動作確認用単三電池4本
- 4.機体用LiPoバッテリー
- 5.精密ドライバ
- 6.USB充電器

※セット内容は予告なく変更となる場合があります。何卒ご了承ください。

スペック

形式：NE R/C 127A

使用周波数：4ch-2.4GHz帯 同時飛行可能台数約30台

ローター径：215mm

全長：200mm

重量：41g

機体バッテリー：1セル 3.7V/150mAh Li-Po

飛行可能時間：5～7分（条件により異なります）

充電時間：30～50分程度（条件により異なります）

送信機バッテリー：単3×4本（6V）アルカリ電池推奨

※当製品は送受信電波に「Hobbicoプロトコル」を採用しています。このため、これまでのNineEagles製品（SoloMaxxやHughesSX, SoloPro328など）とは互換性がありません。このため、これらの機体と当製品に付属の送信機はバインドできません。

AnyLinkシステムについて



2.4GHz互換を可能にするANY LINK™システムを採用。
Hobbico社の開発した2.4GHz互換システム「ANY LINK™」により、
お手持ちの送信機でNine Eaglesヘリの操作が可能になります。

※US Patent(米国特許)取得済み。

※「AnyLink」システムは米国Hobbico社の登録商標です。NineEagles社より発売される名称は
「RFアダプターモジュール」となります。



RFアダプターモジュール

お手持ちの送信機（各メーカー一部機種対応予定）で当機種を
ご使用頂く場合は、RFアダプターモジュールが必要です。
このRFアダプターモジュールをお手持ちの送信機に取り付けて
ご使用頂けます。他社製送信機で操縦する為には別売専用ケー
ブルが必要になります。

使用条件：トレーナージャック・電源供給用ジャックが装備
されたHitec,JR,Futaba,Spektrum,Walkera
送信機。また、トレーナージャック等が装備されて
いてもご使用いただけない機種もあります。

お客様にご用意頂くもの



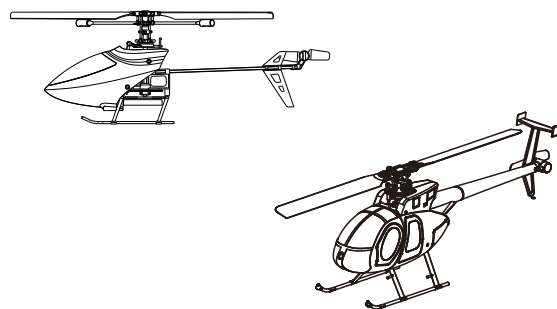
HiTEC Aurora9 など

+



RFアダプターモジュール

※別途ケーブルが必要な場合
があります



※Rfアダプターモジュールにつきましては8月以降に販売予定となっております。
詳細につきましては弊社Webサイトにて告知させていただきます。

<http://www.hitecrd.co.jp>



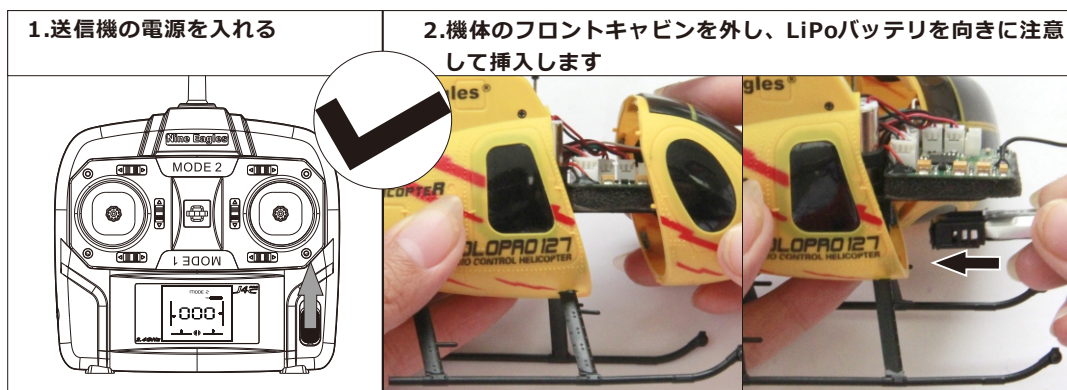
重要！！ 送信機の電源を入れる際の注意

送信機の電源を入れるときはスティック位置のキャリブレーションを自動で行いますので、必ずスティックは下記の位置にした状態でスティックに触れないように送信機の電源を入れて下さい。

また、機体にバッテリーに差し込んだ後は、速やかに水平な場所に置き、ジャイロが正しく認識するまで触れないようにしてください。

1.スロットルスティックは最スロー（いっぱいまで下げる）

2.エルロン・ラダー・エレベータスティックは中立位置



※スティックに触れた状態で電源を入れると、各舵のニュートラル位置が大きくズれてしまい、機体は転がって制御不能になります。

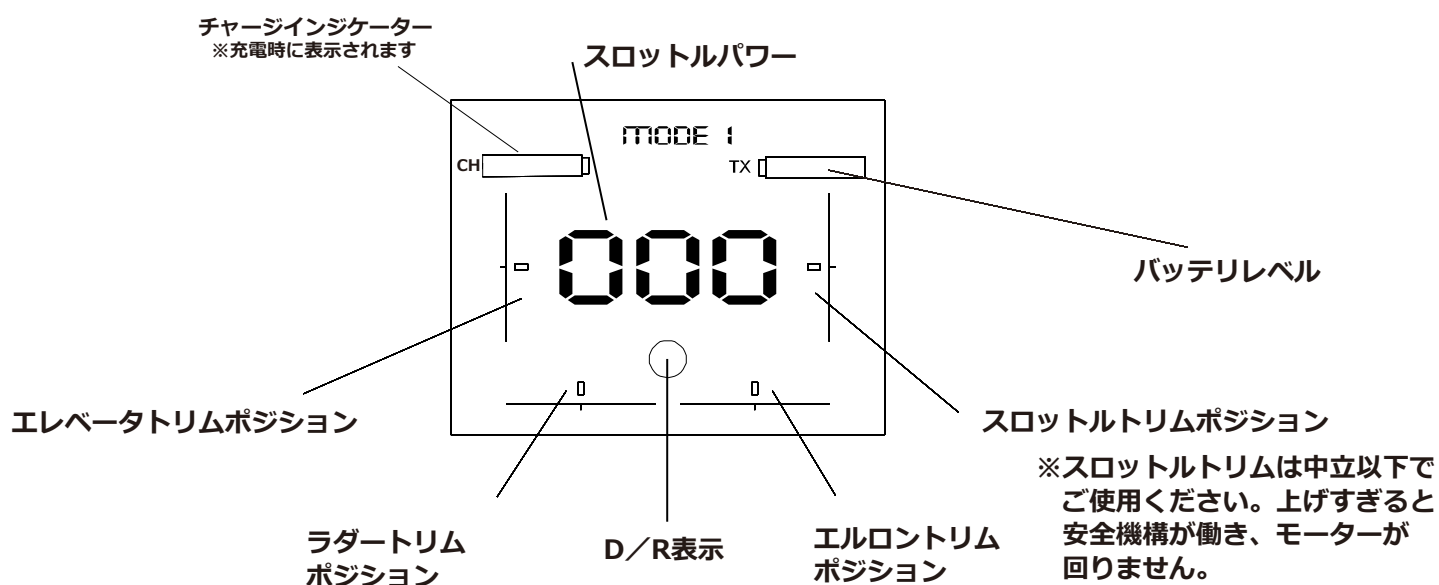
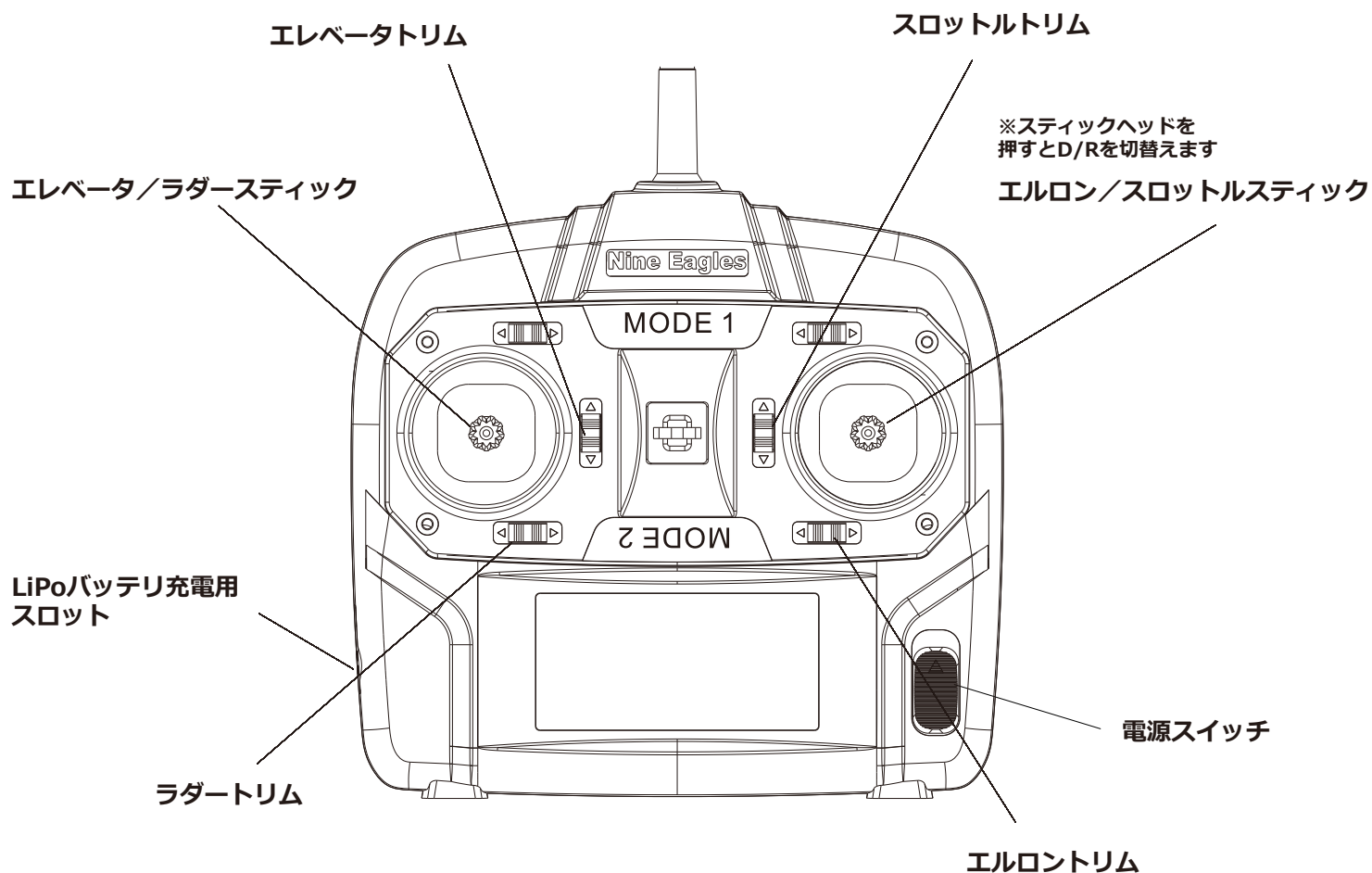
■ 電源を切る際の注意

フライトを終え、電源を切る際は上記手順とは逆に、機体側LiPoバッテリーから外します。この手順を守らず、送信機から電源を切りますと、思わぬ動作をする場合がありますので、十分ご注意ください。

送信機各部名称（モード1）

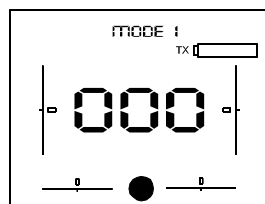
出荷時は日本仕様の【モード1】の設定となっております。

- ・ 右スティック：エルロン・スロットル操作
- ・ 左スティック：エレベータ・ラダー操作

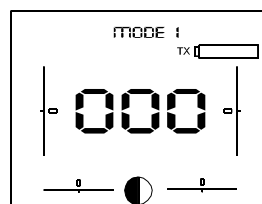


◆ D/R（デュアルレート）の切り替え

D/Rの切り替えで機体の反応特性（エルロン・エレベータ）の切替が出来ます。
スロットルスティックヘッドを押し込むたびにブザーが鳴り、D/Rが切り替わります。
現在の位置はLCDの表示マークで確認出来ます。



D/Rワイド



D/Rナロー

ヘリコプターの操縦に自信の無い方はD/Rナロー側で操縦して下さい。
ワイドに切替えますと機体が敏感に反応します。

◆ スティックモードの切り替え方法

モードを切替えることによりスティック配置を変更出来ます。出荷時は日本ユーザー向けの【モード1】になっております。下記の手順操作で欧米のユーザーが使用しているモード2を手軽に体験出来ます。

※ 送信機の電源を必ずOFFにして下さい



電源を切った状態でスティックユニット左右上下にあるネジを外し、スティックユニットを図のように回します。「MODE2」と書いてあるほうを上にする事でMODE2に変更することが出来ます。

機体用のLi-Poバッテリーの充電方法

1.送信機横のカバーを開け、内部端子に合わせLiPo

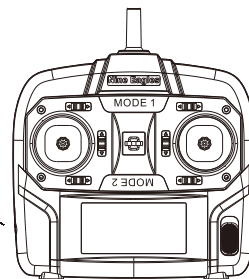
バッテリーを差し込みます。

※端子を裏にして端子側から差し込みます

2.送信機電源を入れることで充電が開始されます。

この際、液晶画面左上にチャージインジケータが表示されます。

LiPoバッテリー充電用
スロット



3.充電中は定期的に「ピッ・・・ピッ・・・」とアラームでお知らせします

※このアラームを消すことはできません

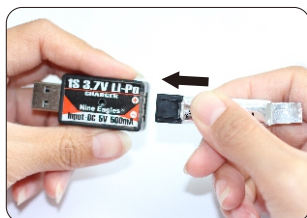
4.充電が完了すると「ピピピッ・・・ピピピッ・・・」とアラームでお知らせしますので、

速やかにバッテリーを外し、送信機の電源を切ります

※充電時間は送信機のバッテリー（乾電池）の残量により変化します

※AC専用充電器セット（NE4210902）も販売していますので是非ご利用ください

機体用のLi-Poバッテリーの充電方法（USB）



付属USB充電器でも充電が可能です。パソコンなどのUSB端子に充電器を差し込み、バッテリーを差し込んでください。充電中は赤いLEDが点灯します。充電が完了すると消灯しますので、速やかにUSB充電器を取り外します。



重要な注意事項

Li-Poバッテリーは取り扱いを誤ると発火する恐れのあるバッテリーです。
下記の指示を必ずお守り下さい。

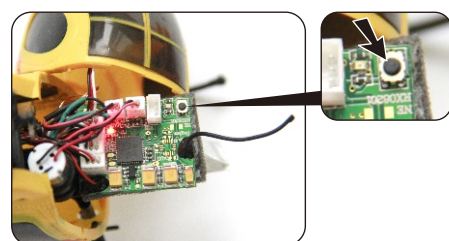
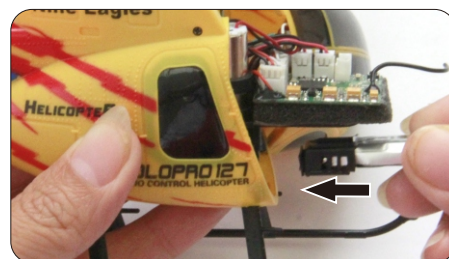
- ・ 純正充電器または送信機以外では絶対に充電しないで下さい
- ・ 他の種類のLi-Poバッテリーは充電しないで下さい
- ・ 気温35度以上では充電しないで下さい
- ・ Li-Poバッテリーのラミネートカバーが膨らんでいるバッテリーや甘い臭いがするバッテリーは充電しないで下さい
- ・ 安全の為に充電中は部屋にいて異常事態に対処して下さい
- ・ 電池を保管する場合、電池寿命の為に残量がゼロの状態や満充電状態を避けて下さい
- ・ 過放電（バッテリーを完全放電すること）しますと、ご使用頂けなくなる場合があります。十分ご注意ください。

受信機のBind設定手順

送信機は1台1台独自のIDを持っています。この送信機のIDを受信機に登録する作業を「Bind（バインド）」と呼びます。工場出荷時にはこの作業は済ませてあります。手持ちの送信機で他の機体を操縦する場合や他の送信機に機体を合わせる場合、そして受信機ユニットの修理などを行った際にこの作業が必要となります。

※稀にバインドが切れる場合もあり、その際もバインド設定が必要になります

- 1.送信機の電源を入れます
- 2.機体のフロントキャビンを外し、LiPoバッテリーを挿入します。受信機のLEDが点滅していることを確認します。
- 3.受信機内のバインドボタンを指で押し、暫くしてから受信機のLEDが点灯に変わることを確認してください。
- 4.各サーボやモーターが送信機スティックに反応することを確認します。



※バインド作業は送信機・機体を10cm程度に近づけて作業して下さい




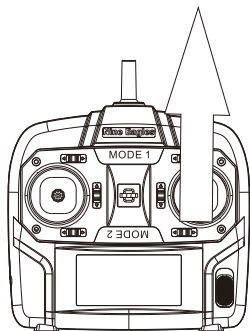
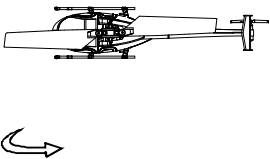
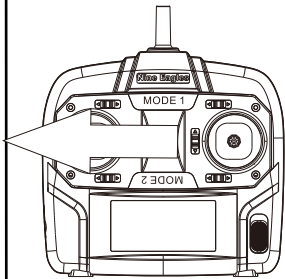
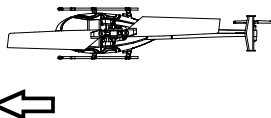
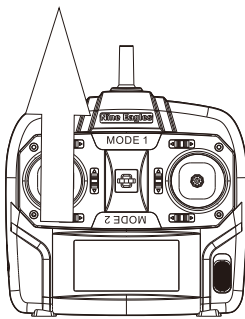
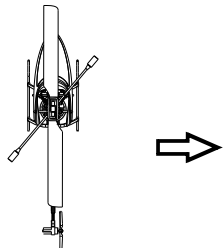
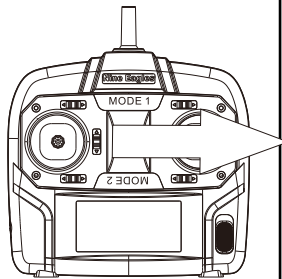

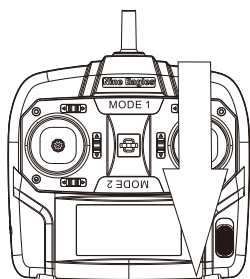

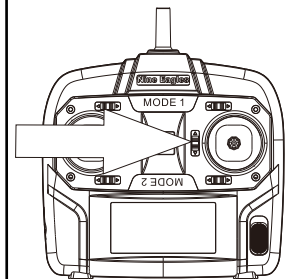
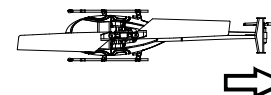
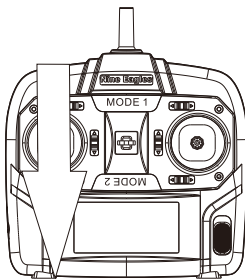
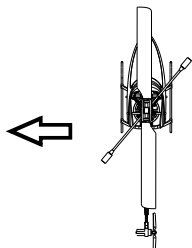
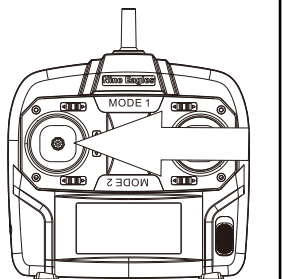
ご注意： Bind作業を行う際には他の2.4GHz送信機や機体の電源をOFFにします。また、無線LANやBluetooth等の機器からも離して作業して下さい

デュアルレート設定

この製品に付属の送信機では操作範囲を70%(ナローモード)、100%(ワイドモード)に切替可能です。標準ではナローモードとなっています。電源が入っている状態でMODE1の場合は右スティックを押し込むことで切り替えが可能です。MODE2でも右スティックを押し込むことで切り替えが可能です。ワイドモードは運動性は高まりますが、操作が難しくなります。

送信機スティックの役割

送信機のスティック操作で機体は下図のように操縦出来ます
(MODE 1)

スロットル	ラダー	エレベータ	エルロン
<p>上昇</p>  	<p>左回転</p>  	<p>前進</p>  	<p>右移動</p>  
スロットル	ラダー	エレベータ	エルロン
<p>下降</p>  	<p>右回転</p>  	<p>後進</p>  	<p>左移動</p>  

トリム調整

※下記説明はMODE1での説明となります。

送信機のスティック根元にはトリムレバーボタンがあります。

トリムとは、スティックから手を離れたときの機体の各舵の中立位置（ニュートラル位置）を微調整する物です。

これをしっかり調整しないと機体は安定して空中に静止しません。重要な役割ですので飛行前に納得いくまで調整して下さい。調整出来ていないままに飛行させると機体は傾いて墜落してしまう危険性があります。

最初は機体のスキッド部を軽く持ち、ホバーリング出来る程度までスロットルを上げ、機体がどちらかに傾く（回転）するか慎重に見極めます。クセのある舵のトリムを、クセがとれて傾かなくなる位置まで調整します。

※回転中のローターに触れないようにご注意ください。

■エレベータトリム



機体が前後に傾く場合は傾いた方向とは逆方向にトリムレバーを押して打ち消すように調整します。位置はLCDに表示されます。

■エルロントリム



機体が左右に傾く場合は傾いた方向とは逆方向にトリムレバーを押して打ち消すように調整します。位置はLCDに表示されます。

■スロットルトリム



LCDの表示がセンターであれば特に調整の必要はありません。スティックを一番下にしたときにモータが停止すればOKです。位置はLCDに表示されます。

※スロットルトリムは中立以上に上げないでご利用ください。上げすぎますと安全機構が働き、モーターが回らない仕組みとなっています

■ラダートリム



機体が左右に回転する場合は回転する方向とは逆方向にトリムレバーを押して打ち消すように調整します。位置はLCDに表示されます。

※機体の回転がトリムで停止出来ない場合はモータの寿命・劣化が考えられます

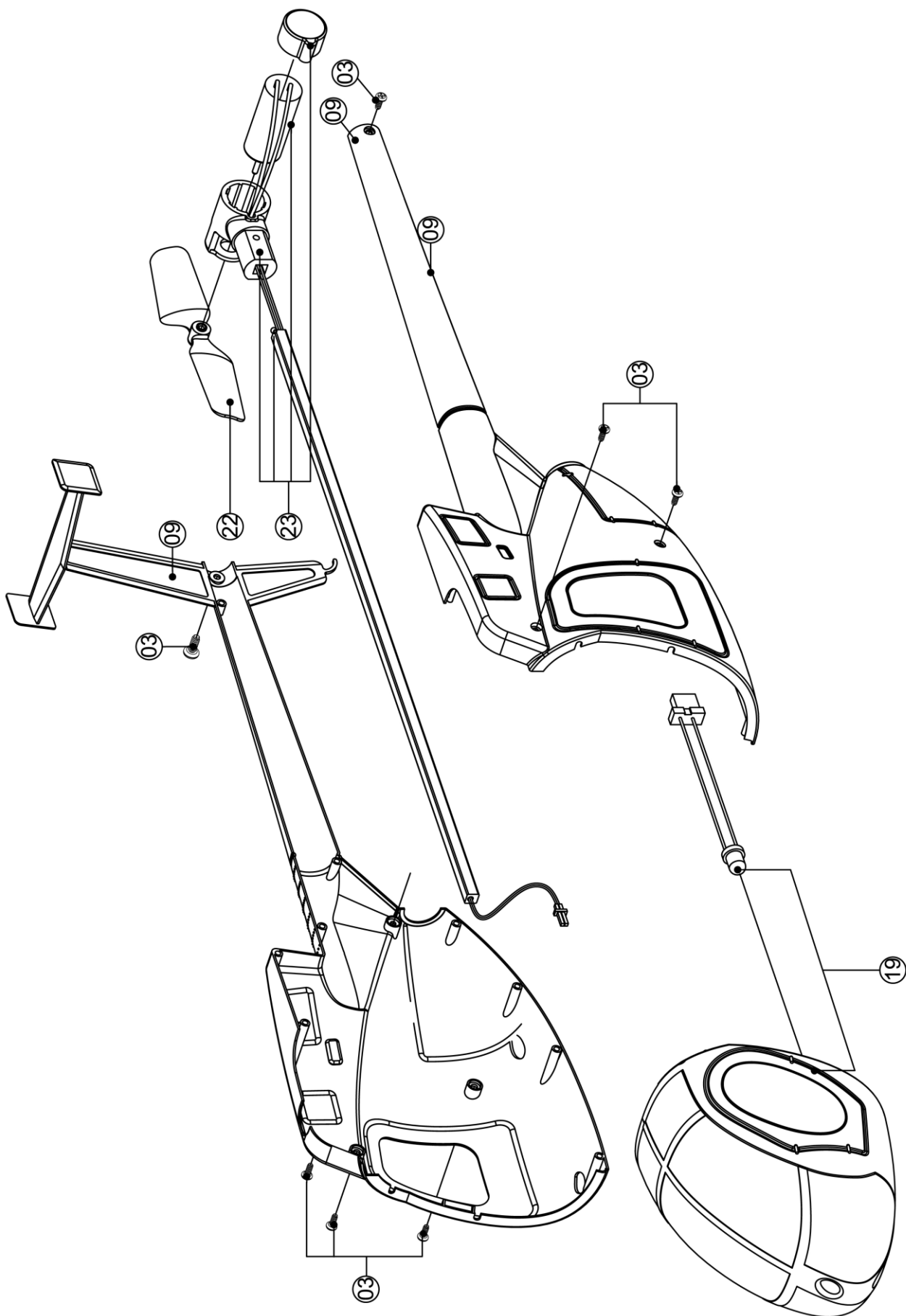
初心者の飛行練習アドバイス

- トリム調整は立って手のひらに載せ、浮上する程度にスロットルを上げ、機体が大体止まるようにトリムを調整するのが良いでしょう。離陸寸前での調整はしないでください。地上での調整をしてしまうと正しいトリム位置ではなくなってしまうです。
※トリム調整は無風状態で行って下さい
- シングルロータ式なので、テールローターの作用を打ち消すようにホバリング時は機体が少し右に（エルロン軸）傾いて静止するのが正常です。
- ホバリングから各舵を打った際、これまでのスタビライザーが付いた機体とは異なり、スタビレス機特有の現象（早い動き）が起きます。素早く修正舵を打ち、安定してホバリング態勢を取れるようスティックワークを心がけてください。
- 床からの浮上は地面効果の為にエルロンを右に素早く修正しないと機体は左に移動してしまいます。
- この機体はシングルロータ式の為に、スティック操作による各舵の反応は、左右前後それぞれ異なり、クセがあります。また、各舵を独立して操作しても他の軸の舵に影響やクセが出ます。
このクセを飲み込み無意識にスティックで修正出来ることが上達への目標になります。そして操縦に慣れると二重反転ヘリより運動性の良い自在な飛行が可能になります。本格的なRCヘリへ向けた練習としてはフライトシミュレータより実践的です。
- 飛行はエアコンや開いた窓・換気扇の僅かな風にも影響を受けます。
- 落下や他に接触した機体はそのまま飛行させないで、必ず各部を点検して下さい。
各ロッドの抜け・スワッシュプレートのズレやベアリングの浮き・テールモータのズレ・キャビンのズレ・スキッドの緩み、そしてバッテリーが後方にズレますと重心が狂います。

重要！！ 飛行時のご注意

- 飛行中にパワー不足を感じた時はバッテリーの残量が少なくなっています。速やかに着陸して充電して下さい。過放電するとバッテリーが使用できなくなります。（当製品にはオートカット機構が付いておりませんので、十分ご注意ください）
- 墜落しそうな時や物に接触しそうな時は、出来るだけ素早くスロットルスティックを下げてモータパワーを絞って下さい。モータが回っている状態で接触や墜落をすると、機体の破損が大きくなります。また、モータにも負担が掛かり、寿命が短くなります。
- 機体を保管するときはロータ等に何も触れないように保管して下さい。
ロータに何か触れたままだと変形してトラッキングがズレてしまいます。
- 複数のバッテリーを使用時の連続フライトはモーターに負担が掛かりますので、必ず1フライトごとに自然冷却（15分程度）させてからフライトして下さい。

■ SoloPro127 分解図



補修パーツセット

Parts No.	品番	名称	価格 (税入)
01	NE400265	メインターブレード (SoloPro127)	¥630
02	NE400242	ローターゲリッパ (Solo Pro129,SoloPro127)	¥630
03	NE400236	スクリューセット(SoloPro127)	¥315
04	NE400244	アッパーリンクージョイントセット(Solo Pro129,SoloPro127)	¥525
05	NE400241	ローターゲリッパスパー(Solo Pro129,SoloPro127)	¥336
06	NE400240	ローターハット用ダンパーセット(Solo Pro129,SoloPro127)	¥315
07	NE400238	スピンドルシャフト(Solo Pro129,SoloPro127)	¥315
08	NE400239	ローターハット (Solo Pro129,SoloPro127)	¥630
09,19	NE400230	キャビンセット(SoloPro127)	¥2,520
10	NE400231	スワッシュプレート(Solo Pro129,SoloPro127)	¥1,260
11	NE400024	カラーセット(SoloPro127)	¥420
12	NE400254	アウターリンクージョイントセット(SoloPro127)	¥525
13	NE400245	メインシャフト(Solo Pro129,SoloPro127)	¥630
15	NE400253	メインフレーム(SoloPro127)	¥525
17	NE400269	メインモーター(SoloPro127)	¥1,155
18	NE480107	受信機(SoloPro127) Hobico	¥6,090
21	NE400237	LEDライトセット(SoloPro127)	¥630
23	NE400232	テールモータージョイントセット(SoloPro127)	¥1,470
24	NE400252	バッテリーフレーム(SoloPro127)	¥630
25	NE411927001A	LiPoバッテリー(SoloPro127)	¥1,380
26	NE400233	ランディングスキッドセット(SoloPro127)	¥840
27	NE400234	サーボホルダージョイントセット(Solo Pro129,SoloPro127)	¥525

※各種パーツは改善のため、予告なく仕様変更および形状変更する場合がありますので
ご了承ください。最新情報は弊社Webサイトにてご確認頂けます。

<http://www.hitecrd.co.jp/>

- 1.当社が保証内としたご使用状態で不具合が生じた場合、修理または部品の交換を致します。
保証外と判断した場合には修理を承れない場合もございます。その判断につきましては恐れ入りますが、当社にご一任ください。
- 2.経時的変化による消耗や摩耗、お取扱上の不注意・事故・改造による不具合は、保証の対象外とみなし、有償と致します。
- 3.当社商品の適合商品以外のバッテリー、送信機等をご利用になりますと、商品本来の機能を損なう恐れがございます。そのような状況での不具合に関しての修理は有償と致します。
- 4.生産が終了した商品につきましては修理を承れない場合があります。
- 5.修理作業につきましてはご指摘の箇所のみと致します。修理をご用命の際は、必ず修理箇所を別紙の「修理依頼票」または、Webサイトにて詳細にご記入頂けますようお願い致します。
- 6.修理不能および修理代金が新品保証価格を上回る場合は新品保証交換を適用致します。
(金額は機種により変わります)
- 7.弊社製品は予告なく仕様変更をする場合がございます。その場合におきましても、返品・交換は致しかねますので、予めご了承下さい。

初期不良について

- 1.初期動作不良が認められた場合に適用致します。ご購入より2週間以内に動作確認頂き、サーボやモーターの動作不具合・キャビン・パーツ等の欠損がある場合に無償修理・交換させて頂きます。ご購入時の納品書・レシートのコピーを弊社にて確認できない場合は初期不良を適用できない場合があります。
- 2.フライト後に起きた不具合につきましては有償修理とさせて頂きます。但し、当社判断により無償対応とさせて頂ける場合もございます。その判断は当社にご一任下さい。
- 3.いかなる場合に置きましても返品はお受けいたしかねます。

新品交換保証について

- 1.新品交換保証お申し込みの際は「機体・送信機・バッテリー・元箱・日本語取扱説明書」が必要となります。機体のみ、または送信機のみでの交換はできません。
- 2.当社在庫が完了となった時点で「新品交換保証」は受付終了となります。
- 3.機種の変更や色の変更はお受けいたしかねます。
- 4.交換に際し、回数の制限はありません。
- 5.並行輸入品・パーツは対象となりませんのでご注意ください。

Memo:

NOTHING FLIES LIKE NINE EAGLES
Please enjoy your Nine Eagles flying experience!!!



◎輸入販売元

お問い合わせ・修理品送付先

〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-10 1F

株式会社ハイテック マルチプレックス ジャパン

Nine Eagles専用ダイヤル : 03-6458-0191

FAX : 03-6458-0231

受付時間 : 月～金曜日 (祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

10:30～12:30, 13:30～16:30

Web Site : www.hitecrd.co.jp

Shanghai Nine Eagles Electronic Technology Co., Ltd.
Copyright © 2012 Hitec Multiplex Japan, Inc. All Rights Reserved.